



毛呂山中だより



【学校教育目標】「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」 自ら学び 共感し 行動できる生徒
 【目指す学校像】「一人一人が輝く学校 地域と共に歩む学校」 文責 前田 伸吾

「やりがいのある学校」を目指して ～生徒と共に喜び、汗を流す教師のいる学校～

★猛暑日が続いた夏から、心地よい秋風が吹く季節へと変わりつつあります。朝晩の気温が下がり、山沿いの地域では、木々も色づき始めています。秋は「実りの季節」とも言われる通り、自然の恵みが豊かに感じられる時期です。この秋、様々な行事や活動が行われ、毛呂山の子供たちは、立派に成長し日々の成果を積み重ねています。

そこで、更なる成長を願い、今回は、私が考える「公正・公平」についてお話しします。

学校では日常生活や道徳科の授業等で集団や社会とのかかわりに関することを学んでいます。私たちは人間である以上、ものごとや他者に対して「好き」「嫌い」があります。これは、自ずと生まれ出る感情であるため、人間は、これをなくすことはできません。しかしながら、人として成長していく過程では、「好き」「嫌い」の感情にとらわれない・振り回されないようにすることがとても大切です。

誰でも、「好きなこと」と「嫌いなこと」があります。これは多くの場合、「やりたいこと」と「やりたくないこと」に直結します。保育園・幼稚園から小学校、中学校と過ごしてきている生徒の皆さんには直ぐ思いつくことだと思いますが、私たちの生活においては「やりたくないこと」をやらないままというわけにはいきません。人には必ず、好むと好まざるとにかかわらず、やらなければならないことが存在します。そのやらなければならないことをしっかりとやっているからこそ、皆さんは成長して、中学生として生活できていると思うのです。

では、対人間で考えてみましょう。

上で触れたように他者に対しても「好き」「嫌い」はあります。これはなくすことはできません。でも、とらわれない・振り回されないようにすることはできます。例えば、席替えをして、嫌いな人と同じ班になったとしたらどうしますか。よくあることだと思いますが、班活動は学校生活の基本です。給食当番や清掃、時には話し合い活動など、多くの活動は班単位で行われる場合があります。その時に、好きな△△さんとばかり組んだり、時には班活動中に班を越えておしゃべりしたりするかと思えば、その一方で、嫌いな〇〇さんとは話もしないし、協力もしないという姿勢・態度でよいのでしょうか。もちろん、「No」です。理屈は誰もが分かることです。理屈で分かっていることを実行に移すことは難しいことです。だからこそ、それが成長に繋がるのではないのでしょうか。

自分の「好き」「嫌い」で他者への接し方を変えるのは集団生活にあってはふさわしくない行動です。理想の姿は、自分と同じように他者も尊重し、誰に対しても分け隔てなく公平に接し続けることができる人です。好きな人にも嫌いな人にもどちらでもない人にも、集団で生活する際は、分け隔てなく接する、誰とでも笑顔で話せる、誰であってもその人が困っていたら助ける、そんな人になってほしいです。



吹奏楽コンクールを終えて（吹奏楽部）



防災体験学習（全学年）



福祉体験学習（3年生）

10月の主な行事予定

10月1日(水)	登校指導 学習会③
2日(木)	中間テスト1日目 下校指導
3日(金)	中間テスト2日目 表彰集会・生徒会任命式 下校指導 英語検定(会場)
5日(日)	やる気アップデー
7日(火)	生徒朝会(保健委員会)
8日(水)	新人大会県大会(陸上)
9日(木)	新人大会県大会(陸上) 学力アップ教室
10日(金)	1年生校外学習(川越)
13日(月)	スポーツの日
14日(火)	小中一貫クラブ交流会(毛呂山小)
16日(水)	埼玉駅伝都市予選会 学力アップ教室
23日(木)	合唱コンクール準備 5時間授業
24日(金)	合唱コンクール
27日(月)	3年生実力テスト
28日(火)	学校朝会 小中音楽交流会(毛呂山小)
29日(水)	小中音楽交流会(泉野小)
30日(木)	学力アップ教室

9月18日から20日(陸上は9月11日)にかけて新人体育大会の予選会が各会場で行われました。

新人戦は、これまでの努力の成果を試す機会でした。好成績を残すことに越したことはありませんが、大事なことは、この結果、この経験から何を学ぶかです。自分(たち)が目指すものに対して、努力の方向は正しいか、足りないものは何か、やるべきことは何か、大いに「振り返り」をしてほしいと思います。「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という言葉があります。これは、元プロ野球、故・野村克也監督が良く使っていた言葉ですが、実は江戸時代の大名で剣術の達人でもあった松浦静山の剣術書にある一文からの引用だそうです。「負けるときには、何の理由もなく負けるわけではなく、その試合中に必ず何か負ける原因がある。一方、勝ったときでも、すべてが良いと思って慢心すべきではない。勝った場合でも何か負けにつながったかもしれない要素がある」という意味だそうです。一時は、これまでの過程や結果を「後悔」しても構いません。ですが早く冷静に考えを進め「振り返り」をし、悔しさをバネに成長してほしいです。学総まで残り8ヶ月。引退の時は「後悔」することが無いよう、今回の経験を活かして、日々の努力を続けていきましょう。

スピーチコンテスト

9月17日(水)、毛呂山町東公民館にて、標記大会が開催されました。本校からは、3名の3年生が素晴らしいスピーチを披露してくれました。

さん：「Choose Words, Create Futures」
さん：「Small Actions, Big Impact」

さん：「Creating a Future with the Spirit of Mottainai」3人とも練習の成果を十分に発揮することができたすばらしい発表でした。



陸上競技部

※県大会出場

男子400m 58"08

②

男子800m 2'20"08

②

女子800m 2'56"11

①

男子1500m 4'48"11

②

新人体育大会予選会結果

○野球部(越生合同チーム)

第3位

1回戦 VS 川角中

15-2 勝利

準決勝 VS 浅羽野・住吉合同チーム

0-8 惜敗

○サッカー部(越生合同チーム)

第3位

1回戦 VS 鶴ヶ島西中

0-0 PK戦勝利

準決勝 VS 桜・千代田合同チーム

3-0 惜敗

○男子バスケットボール部

1回戦 VS 鶴ヶ島南中

45-70 惜敗

○女子バスケットボール部

1回戦 VS 坂戸中

53-57 惜敗

○女子バドミントン部

団体 優勝

※地区代表決定戦へ

個人戦シングルス

優勝

※地区代表決定戦へ

個人戦ダブルス

第2位

第3位

※地区代表決定戦へ

第3位

○ソフトテニス部

男子団体

1回戦 VS 越生中 勝利

2回戦 VS 鶴ヶ島西中 惜敗

女子団体

1回戦 VS 千代田中 惜敗

○卓球部

男子団体

Bブロック第6位

○剣道部

女子団体 第2位(県大会出場)

準決勝 VS 千代田中 勝利

決勝 VS 若宮中 惜敗

女子個人

第2位

(県大会出場)

○卓球競技

女子個人

優勝

②(県大会出場)

第2位

①(県大会出場)

第5位

①(県大会出場)